7月15日 金曜日 14日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646
(直通)販売 〃 0437 広告 〃 3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話 代表 芝(43)116[illegible]
振替 貯金 口座 東京170071

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3157号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日[illegible]) (中華郵政台字第637号[illegible]新聞紙類・[illegible])

4版

外交問題で活発な論戦
衆院予算委員会

ソ連、歯舞色丹固執すまい
首相『日ソ交渉』で言明

[illegible]

鳩山首相 双方主張を述べあってるが、抑留者の帰還についても領土問題についても正面衝突してることはなく、暗礁に乗り上げるとは考えられない。

重光外相 双方とも主張を十分に[illegible]リク全権は今月はじめにモスクワに帰ったので交渉が一時中断された。帰った理由は判らないが、十四日にロンドンにもどるので十五日から交渉が再開されるはずである。

北沢氏 未帰還者問題につきソ連はどの程度妥協の色をみせているか。

外相 ソ連側は日本の要求を拒絶したこともない。平和条約ができれば解決しなければならないとしている。むしろ日本側の意見に耳を傾けている。ともかく目下交渉中であり、努力することが必要だと思っている。

北沢氏 日ソ交渉がまとまればソ連は日本人の引揚げに同意すると了解してもよいか。

外相 左様期待している。

北沢氏 首相は歯舞、色丹は返すだろうと公言しているが、その具体的[illegible]ないかと思う。

北沢氏 首相の歯舞、色丹返還に対する見通しは甘すぎる。首相はソ連の対日態度について誤りを犯しているのではないか。

首相 私のソ連観察は誤っていない。ソ連は世界制覇の考え方を持っていたこともあるが、現在は平和に向っていると思う。世界の緊張が緩和すれば歯舞、色丹を固執する理由はないと思う。

北沢氏 首相は簡単に日ソ交渉がまとまると思っているのではないか。

首相 どのくらいの期間でまとまるか予想したことはない。国交を正常化することにはソ連がのってくると思っていた。早まった行いとは思っていない。

北沢氏 日ソ交渉は長期化すると思うがどうか。

外相 その観測をはっきり下す段階ではない。すでに一ヵ月半経過しているのだが、今後も相当期間を要するだろう。

北沢氏 首相は日ソ交渉が成功するまで政権を担当する考えか。

首相 先のことは判らないが、そうありたいと思う。

北沢氏 四巨頭会談の背景について聞きたい。

"米を通じ示せ" 巨頭会談への要望

外相 原子戦争による人類の破滅を避け、なんとか平和をつなぎとめなくてはならないと指導的諸国の政治家が真剣に考えてきたということだろう。

北沢氏 巨頭会談で極東問題が取上げられるなら事前に日米間で話合い、日本は米国を通じて日本の考え方を表明すべきではないか。

外相 その意見に同感である。そのように努力している。米国としては極東問題は議題にのぼせたくないようだ。利害関係国の参加なくしては議題とするのを避けたいようであり、自由主義諸国は同じ見解のようだ。しかしソ連側は議題としたい意向のようなので、米国としてもそうなれば議論をするだろうが、内容にわたっての討議は避けたいようだ。

北沢氏 日韓関係が悪化し、アリソン米大使が和解に奔走したが、その結果、韓国の反響はどうか。

外相 日韓関係を改善して国交回復を図りたいとの希望は変っていない。

説明する一万田蔵相と(その後)重光外相、鳩山首相

四巨頭に打電
両社の要望

鈴木左社、河上右社両委員長は十四日午前十一時五分から院内常任委員長室で会合、四巨頭会談に対する両委員長のアッピールについて協議した結果、次のとおり決定十五日両委員長名をもってイーデン英、フォール仏、ブルガーニン・ソ連各首相およびアイゼンハワー米大統領ならびに目下ロンドンで開催中の社会主義インター第四回大会宛にそれぞれ打電することになった。なおこのアッピールの線に沿った国会の共同決議および四党首会談の開催などの具体策などについては、十五日午前十一時から院内で和田、浅沼両書記長、八百板、河野両国会対策委員長の四者会談で協議する。

◇いまやジュネーヴに開かれんとする会談に臨む四巨頭の人類文明史に対する責務はすこぶる重大である。会談に加わらない圧倒的多数の弱少国の運命がここに負託されている。

われら両名は再び戦争に訴えず、戦争に加わらないことを誓い、平和憲法を守る決意を固め、原水爆の悲痛な実験を味わった日本国民の平和への悲願に鼓舞されてここに英、仏、ソ、米四国の最高責任者にたいし次の訴えを行う。

一、四巨頭会談を契機として冷戦の終結、国連の強化とそのもとにおける一つの世界を達成すること。

一、一切の国際緊張は話合いによって解決する旨の誓約がなされること。

一、大国内の協定によって有効な国際監督制度のもとに一切の軍備、兵力の縮少を実現すること。

一、これと平行して熱核兵器は同じく有効な国際監督制度のもとに生産、実験、保持及び使用を禁止すること。右禁止にいたる間は水爆実験を行わないこと。

ダレス長官 パリへ出発

【ワシントン十三日発UP=共同】ダレス米国務長官は十三日午後四時十八分(日本時間十四日午前五時十八分)空路ワシントンを出発パリへ向った。

【ワシントン十三日発AP=共同】ダレス米国務長官は十三日午後ワシントン出発にあたり声明を発表したが、この中で巨頭会談についておよそ次のように述べている。

ジュネーヴで討議されそうな問題について西欧三大国の意見が一致すると信ずる十分な理由がある。三国が最初から結束していることは巨頭会談の諸目的に関して、ソ連と合意に到達しようとするわれわれの努力のよき始まりである。会談の目的とは将来とりかかるべき諸問題をはっきりさせ、これらの解決を見出すために確立すべき国際的な手続きについて意見の一致をはかることである。ジュネーヴ会談は一つの始まりであって終りではない。ここで大きな実質のある決定が行われると期待してはならない。われわれの希望すべきことはジュネーヴ会談が安全保障と公正な平和を求める。

【写真は出発の直前、ワシントン空港で駐米イタリア(左)ベルギー(右)両国大使と語るダレス米国務長官(中央)】(UPサン=共同電送)

売春処罰法案の背景 (3)
赤線女の巻
昔ながらの籠の鳥
なかに百万円貯金持つ女も……

○…この程労働省婦人少年局から発表された「売春白書」によると売春婦の数は赤線、青線および基地周辺の約千七百八十地域に約十二万四千四百名、そのほかモグリを加えると全国に約五十万に上ると推定される。

彼女たちは約七割が義務教育をうけており、高校卒および中退は二割弱である。多くは中流家庭に育ったが、戦後の生活難や道徳観の低下から押し流されてお定まりの転落コースをたどった。ただこの白書で注目されるのは婚姻状態は未婚六割弱、既婚四割強で、このうち九割は夫と死離別した者だが既婚者の七割が一人から五人の子供を持ち、親や親類などに養育費を送り、未婚者の半数は親元に送金、本人の職業について親や家族の七割までが黙認知っているが、黙認しているという事実である。

○…では肉体を切り売りして稼ぐ彼女たちの収入はどの程度なのか? 大体の推定によると赤線では月に最少二万円、最高十八万円、全国平均三万―四万円程度である。また散娼の収入は二万円程度である。この涙と汗を流して稼いだ金を彼女たちは親元や親類などに送金し、残りは他日更生して商売をやったり、結婚するときの資金にとせっせと貯えているようだ。東京の特飲街三地区三百名の調査によると五十万円以上貯蓄している者が一人、三十万円が五人、十万円が十五人、三万円が三十一人、一万円が五十二人となっている。最近では調布と亀有の赤線で百二十万、新宿で百万の預金を持っている女もあるそうだ。吉原の元従業婦だったY子さんは貯金した金で今では洲崎に店を持っている。これに目をつけた金融機関では彼女たちの貯金熱をあおるため、いろいろと手をうっている。例えば亀有信用金庫では年二回預金高の多い者を十名ほど表彰して金一封を贈ったりするといった具合である。

…そんなわけで現在赤線でも青線でもそんじょそこらの安サラリーマンより収入がよいせいか、売春処罰法案には極めて冷淡で、吉原の従業婦組合長山田菊枝さんや新宿の組合長の西島静子さんは口を揃えて「全国五十万の売春婦の首をしめるような法案には賛成できない」といい、吉原のある従業婦は「こんな法案ができたら国会の前で自殺してやる」といきまいている。

○…しかし現実はそんな生易しいものではなさそうだ。現行法では前借はできない建前になっているが、実際には半ば公然と行われ、玉割りは四分六または、五分五分で、四分六の場合は四分まるまる女の収入となり、五分五分の場合は食費だけ女が負担することになっているようだ。過日の衆院法務委員会での公聴会で吉原のサロン・トルコから脱出した池上とし子さんと近藤春子さんは「洗濯は一切クリーニング屋に任せ、マワシをとる場合の部屋代は泊りで百円、時間で五十円業者に徴収され、ピースは五十円で売りつけられる。食事は朝はミソ汁、夜は十時頃にウドンが一パイ出るだけで、あとは自弁、外出にはヤリ手婆さんがついてくるし、病気になっても、客をとらせる」と相変らず"籠の鳥"であることを明らかにした。

写真は客を待つ吉原特飲街の女

粋人酔筆

車中夢

杉原嶺華

「可愛い子には旅をさせろ」といういい習わしがあるが、旅に出れば何かしら利口になってくるものである。ワラジ銭と暇さえあれば誰だって旅はしたいものと思うだろう。その点、宮尾しげをさんなどは、われわれの眼から見ると、実におうら山吹のご身分で、旅へ出ていい思いをしながら、もりもりと書いておられる。

絵の描ける人というものは確かに一得で、神保朋世さんにしろ、中川清七呂さんにしろ興が乗れば、芸者さんにでも書いてやるし、そうなるとワッとばかりに囲まれて、憎まれ口ばかり叩いているほか能のないセンセイ方の前は閑散としてくる。滅多に人の似顔などは書いてくれない宮尾画伯にしたって、ご婦人の顔なら書いてやることもある。

ある時など、「浅草の会」の席上で三人ほどの綺麗なひとを前に並べて、しげしげと顔を見つめては、色紙を染めていた。同席の鴨下晁湖画伯がやっかんで、盛んにチャリを入れておられたので、私が「宮尾画伯はあれが専門ですから」というと「どうして?」と反問された。「だって似顔しげをというでしょう」といったら「ウム、それはいい」と納得されたことがある。

信州の辰野町が、隣りの朝日村と合併してお祭をやるからと招かれたので、ちょうど蛍まつりの時期でもあったし、合併のお祭はともかくとして、蛍の光でも見て、大いに学んで来ようかと新宿を立った。車内へ入って見ると制服の警官で一ぱいだったが、一つだけ空いている席へ腰を下ろした。

この頃の列車は積立の団体旅行ばやりで、東京を出ると途端に、一升壜の持ち回りが始まって、それから「お富さん」の合唱などが発生して、一人旅にはやり切れない程の喧ましさが通例となっているのだが、さすがにこの警官ばかりの車内はお行儀よく、水を打ったような静けさだった。うかつな話だが、列車が八王子に入った頃やっと気がつくと、警官の隣りには皆一人ずつ腰には縄、手には手錠のはまった男が腰をかけていた。

静かなはずで集団護送の車だったのだ。私が新聞をひろげると、射るような怖い眼が、前の座席から、そして向うの座席から縄付きのイガグリ衆が、首を鶴のように伸ばして覗き入るのである。ニュースに飢えている鋭い眼だ。タバコを一本つけると、これまたじっと私を睨む。それも煙草ずきな囚人にとっては罪なしぐさであることに気がついたので、一本だけでやめてしまった。何んのことはない、こっちも囚人の一人になったようなもので、警官の中にただ観念の眼をつぶっているより手がなかった。

ただ一つ、有難かったことは便所へ立つにもなんの心配もなく、座席に鞄を放り出したまま悠々と用が足せたことだった。くせの悪い人の手には錠がかかっているし、その回りには警官の眼が光っているし、お願いしますと頭を下げなくとも、これほど安全な車はない。

しばらくすると、囚人同士の会話が始まった。

「お前は何月だ」「俺はこの十二月なので、弱っているんだ。年末ではなァ」「俺は来年の四月だ。花見時でいい時期だぜ」

出所の時期をいうのであろうか。これも取りようによっては怖い話にもなるし、除隊を待つそのかみの兵隊さんのような楽しさにも受取れる。

「今度のとこ、一体何をやらせるんだ」「また靴の底たたきか」「俺は土方じゃないかと思うんだ」これは新しい任地の新らしい任務のことであろう。警官は黙々として割合に自由だ。

その中に一人、車外の景色にうつろな眼を投げている三十男がいた。どこから見ても手錠をはめられる人のようではない温和そのものの顔だった。どうしてこんな人が、こういう境遇に入っているのだろうか、コロシやタタキをする顔ではない。きっと女のことからかも知れないと推測すると、その黒いまつげが心なしか濡れているようでもあった。もし女のことだったら、その相手はどうしているのだろう。さぞかしいいたいこともあるだろうに、などと余計なことを思ったりしているうちに甲府へ着いて「降りるんだ」の一声が、りんと車内へ響き渡ると同時に、私の夢も彼らと一緒にしょっ引かれ、かき消されてしまった。

これから見ようと思う蛍火のような儚さが、身にしみじみと迫って来た。

市況
買気引立たず

前日来の売物は早くも一巡の振合いとなって市況は落着き気味だが、大証券の見送りから買気が引立たないので全般は閑散低調な保合商状に推移した。特定株は山一の買支いがあって下げ止まり、三菱地所の小反発をはじめ軒並小確りの場面となった。雑株も減配売一巡から全般は一、二円幅の小動きに止まっているが、一般にまだ整理気合から抜けきらず一、二円方小さいものが多い。

▽安い株=愛知機四円、日活、エタパイ、千代田畝三円。
▽高い株=大映、京王四円、貝島炭、菱地所三円。

東京株式仲値(新株落△配当落 14日前場終値)

特定銘柄							
東海上	250	信越化	79	倉レ	94	小西六	116
郵船	59	東高圧	125	旭化成	342	カボン	45
新三菱	—	昭電工	88	山陽ベ	103	三井物	136
日清紡	—	日本曹	79	日本ベ	98	第一物	96
味の素	271	旭電化	—	国策ベ	106	白木屋	—
三越	259	三菱造	81	東北ベ	120	高島屋	82
三菱地	479	三井造	117	大東紡	97	日活	67
平和不	176	三菱重	61	商船	45	松竹	201
三井金	110	石川重	91	三井船	48	東宝	—
三菱金	83	精工	116	飯野海	44	大映	180
日鉱	80	東洋ベ	99	西武	354	日本粉	130
住友金	90	日立造	49	藤田興	210	日清粉	159
三菱鉱	40	浦賀	48	東京ガ	65	日本ビ	151
古河鉱	61	日平	20	東電	473	朝日ビ	171
同和鉱	113	古河電	68	日銀	—	キリン	191
住友炭	52	日立製	70	東銀	71	宝酒造	91
三井山	54	東芝	67	三井銀	69	台糖	226
北海炭	48	三菱電	76	富士銀	88	明糖	120
東邦亜	63	小松	50	日証金	83	明菜糖	152
帝石	71	日本光	132	安田火	107	野田醤	190
日石	99	キヤノ	143	大正海	88	森永	282
昭和石	105	東京光	—	住友海	78	明菓	184
東燃	115	東洋紡	139	千代田	74	日水産	82
三菱石	126	鐘紡	115	鋼管	70	昭和産	102
大協石	119	富士紡	110	日製鋼	62	東洋罐	67
日東化	76	大日紡	84	八幡鉄	50	合同酒	110
日産化	76	日東紡	57	富士鉄	47	三楽	92
三菱化	106	片倉	35	神戸鋼	53	大阪罐	148
三井化	116	東邦レ	101	日特鋼	114	王子紙	216
協和醗	113	帝麻	51	日軽金	182	十条紙	226
東合成	118	中織	51	日金工	60	本州紙	87
三共薬	146	帝人	134	日セメ	130	三菱紙	—
		東洋レ	176	磐城セ	233	北越紙	55
		三菱レ	128	小野田	79	三井不	770
				横浜ゴ	150	三井倉	72
				旭硝子	142	渋沢倉	77
				富士写	128	東洋埠	166

内外抄

四巨頭会談はフタをあけぬ前に、あけるとしぼんでみごとな実のなりそうもないのが心配。

◇

台風七号で中共から初の気象警報。問題はその確度、まかり間違えば折角の好意もアダになる。

◇

補助金を不適正に使った者に刑事罰が適正。国民の血を吸った奴は血で償わせる気持でね。

◇

国防会議法案や憲法調査会法案などを流産させようと。人工流産ばやりはよくない傾向。

◇

「売春法案」で議員たち裏口から攻め立てられて立往生。やっぱり「売春」は「流産」が落ちか。

ジグザグコース
功をあせるな

こう暑くては頭が狂いそうだ、とこぼす。そのせいでもあるまいが、新聞の社会面には毎日のように自殺や心中の記事がのっている。この社会に[illegible]病気による生活苦のなくならないこの現象は日本人にとって避けられない運命かも知れない。しかし最近とくに目立つことは、自殺や心中の原因が暑さや貧困、病気による生活苦によらないものがかなり多いことである。

たとえば七日朝、妻子と一家三人心中をはかった元東京消防庁消防士長山名寛二さんの場合は、司法試験を受けるための過度の勉強から。旭川で七歳の長男を絞殺して心中未遂に終った母は、その子の学校の成績を苦にして。また東大理学部の森明講師、都立大工学部関口講師は厭世から自殺を遂げた。森講師の場合はハッキリと厭世の遺書を残している。これらはいずれも神経衰弱の結果ということになっている。

一口に神経衰弱といっても、原因は一様でなく、掘り下げてゆけば生活苦につながる場合がないとはいえないかも知れないが、貧困や病気のように絶対的に追いつめられた場合にあるのではなく、もっぱら内面的、主観的悩みに発するものである。山名元消防士長や旭川の長男絞殺事件は多分に出世欲といおうか、偉くなりたいあせりがあったようだ。森、関口両講師も、考えようによっては、功をあせったのが原因ではなかろうか?

こうなると直接的生活苦による自殺や心中が、多分に社会の責任であるのに反し、これは主として当人の責任ということになる。だから今日のように、物質的にも精神的にも、ユトリのない息づまるような明け暮れを送っているわれわれはよほど神経を太く強く持たなくては現代に生きてゆく資格はない。功をあせるな、のんびりやろうではないか。(Q)

【写真は故山名寛二さん】

女の危機 (六)

青春無宿 (66) 大林清 下高原健二画

星空の下に、光る海が右手に見えはじめると江の島はもう近かった。

「どちらへおつけするんですか」

運転手が車の速力をゆるめながらきいた。

「そうだな、島へ渡るのも億劫だから、こっち側でどこかいい旅館はないか」

菅野も江の島はあまりよく知らないらしい。

「片瀬側なら海浜ホテルか、岩本別館でしょうね」

「ホテルはいかんな、その何とか別館の方へやってくれ」

行手には、もう旅館や土産物店の燈火を盛りあげた江の島が見えはじめていた。

車は観光道路からカーブを切って、小暗い横丁を折れて行った。古風な門を持った旅館が、その片側にあった。

菅野はしぶしぶメーターどうりの料金を払い、

「さァ下りよう、都合でここから又熱海へのせばいい、ともかく一と風呂浴びて、飯でも食わにゃァ」

と、真弓をまず外へ押し出した。

通されたのは、正面に江の島をながめる部屋だった。こちら側からも島へのびている桟橋の二列の球燈が、光の軌道のようだった。

女中が廊下のガラス戸を繰りあけると、磯くさい海の風が、部屋いっぱいに吹き入って来た。

「ともかく風呂へはいろう」

菅野は食事を注文してから、さっさと浴衣に着かえた。

「三人でどうだい。一人ずつはいってたんじゃ時間がかかる」

さすがに今日は、光代だけは誘わなかった。

「あなた一人で行っていらっしゃい」

廊下の椅子へかけていた真弓が涼しい顔で云った。

「お前はいりたくないのか、じゃァ光代、お前といっしょにはいろう」

菅野は果して本性を現わした。昨夜の失敗にもめげずに、同じ[illegible]とをくりかえす気らしい。

「あたし結構です」

光代は廊下の椅子を手摺の側へ逃れた。菅野が浴衣の胸をはだけた格好でよって来たからだった。

「おい真弓、だまってないで何とか云ったらどうだ。江の島くんだりまで来て、風呂へもはいらないなんて、そんな馬鹿な話があるもんじゃない」

菅野は戦法を変えて、真弓を味方に抱きこもうとした。

「あなたはヘタね、嫌なものをしつっこくするからおぎらわれるのよ、もっとうまくやんなさい、スマートにね」

「どうすればいいんだ」

菅野は押され気味にそう云ってから、

「ちょっと話がある」

と、次の間へ出て行った。

「何よ、ここで云えばいいのに」

真弓は光代に片眼をとじて見せそのあとへつづいた。

二人は廊下へ出て、しばらく何か話しているようだったが、やがて真弓だけもどって来た。

「嫌な爺さん、あんたを世話したら着物を買ってやるって、ひとを馬鹿にしてるよ。だけど光ちゃんあいつ、金だけは持ってるんだよ。ああいうけちん坊だから、しぼりとるのは面白いんだ。あんたをどうしてもお風呂へつれて来いってうから、オーケーしといたわ」

天馬に救われた一命

みつ子さん談

『白馬の霊に嫁いだ娘』或いは『恋なき奇妙な結婚式』として東北は青森県下田名部町に起きた話題は今なお覚えている人も少くあるまい。[illegible] 拡がって、今度は白馬の弟馬と結婚にそれぞれお嫁さんとお婿さんが決ったというのである。常識では考えられないこの二十世紀の神話？の主人公、麦沢みつ子さんとその周囲のその後を報告しよう。

え・島村勇児

夏の味（鮎）

○…[illegible] たって素朴な料理法で、この川の女王を賞味するのも特徴であろう。なかでも青竹の筒に、ウス塩をあてた鮎を入れて蒸焼にした筒焼きは珍味である。

○…成長した鮎の腸をぬき、塩漬けにして貯蔵しておき、チラチラと粉雪のふる頃これを取出して、塩をぬいて、串焼きにによく、頭ひれを取って、背から筒切りにして、背越しなますも絶品だ。色も香も失われず、どうしてこれがこのように…と新鮮な美しに先ず讃嘆の声がもれる。清楚な姿、脂肪があって軽淡、野趣あふるる香気。鮎は見ただけでも、万斛の涼味が湧いてくるから不思議な魚である。（品川居）

20世紀の神話の主

その後の〝白馬の靈に嫁いだ娘〟

噂も七十五日の人

麦沢みつ子さん

世にも不思議な話の発端はといえば今年の一月二十日、外は風強く吹雪の夜である。麦沢巳之松さんの家では長女みつ子さん(三)の結婚式が挙げられた。親類、縁者、友人など数十名が居並ぶ広間の正面、祭壇の前には京都製の特別豪華なうちかけの婚礼衣裳に角隠しで、喜びに上気した顔の花嫁みつ子さんが座っている。その隣りの席には、一尺五寸大の木石混製の白馬の像がムコ殿然と鎮座している。やがて三三九度の杯がはじまり、二十万円をかけた盛大な披露宴が続いて型通りにめでたく結婚式が終り、翌日には花嫁のみつ子さんが初々しい花嫁の恥らいをみせながら近所に挨拶回りをしたのである。

……完……

みつ子さんと義姉妹？を約束された田中サツエさん

山中で倒れて以来唖となったが……予言通り初夜から雄弁多筆になる

雪深い東北の古い城下町に起ったこの珍妙な姿なき結婚式は、物に動じぬ東北人もさすがに唖然とした。話題は話題を生んで「あれは精神異常じゃないか」とか、弘前大学医学部の安斎清一講師は「祈禱性精神病でないかと思う」と談話を発表したり「あれは新興宗教の教祖に仕立てるためだろう」などといろいろ取沙汰されたが、当のみつ子さんは以前と変らず、父の仕事の手助けをしているだけで精神異常者ともみえず、また新興宗教などを起す気配もなかった。

ではみつ子さんが白馬のムコ殿と結婚するに至った事の起りはといえば、結婚式の一ヵ月ほど前、みつ子さんはいつものように父の薪炭業を手伝って、作業場の東通村桑原の山に出かけた。

花嫁姿の麦沢みつ子さん

ところが、作業の途中でみつ子さんは突然倒れたが、その後は、一切口がきけなくなり、用事は総て筆談でなされるようになった。それによると「私が倒れた時、天空からオキナ様（神様）の使者である白い羽を持ったお馬様がかけて来て、死にかかった私の生命を救ってくれた。この白馬様は神様の命によって私を救ってくれたのです。白馬様は今年三十三歳の牡馬で、お嫁さんをさがしていたのですが、ちょうど私に生涯の伴侶として白羽の矢をたてたので、神様のお告げによると私は一月二十日に白馬様と結婚しなければならない。そして当日白馬様の像を刻んで祀ると口もきけるようになるということでした」という次第で厳粛盛大な結婚式が挙げられたのである。

ところが驚くべきこと？には、結婚式の夜おそくみつ子さんの決して開かれなかった口はついに開かれ、驚くべき雄弁、多筆な女になったのだというのである。

乗り込んだ神様稼業 共栄を持ちかけ撃退さる

さて、白馬と結婚したみつ子さんは、その後も [illegible]

[illegible] ったオキナ（神様）様と、その直接のお使いであるお馬様への無償の奉仕に尽きます。もちろん教祖になろうなどという気持は毛頭ありません。また木履をはいているお馬様が、長靴をはいていたというのはおかしい話です」

と共存共栄の申し出をポンと蹴った。

寝ている彼女に〝行〟授く

しかしやがて彼女は意外な新事実を明らかにした。

「実は今まで黙っていましたがお馬様には一人の妹と一人の弟がいます。妹のお馬様には、こればほどおムコさんがきまりました。そのおムコさんは現在仙台の高校に在学中の男の子で、その男の子はこの春山へスキーに行って転倒し、あわや死という瞬間に、傍らにあった〝神様からの授り物〟を握ったために一命をとりとめたのです。この授り物は私も卒倒した時、思わず知らずに握ったものと同じで、それは世間の人が見ればゴミみたいなものですが、神様のお使いのお馬様の救いだったのです。お馬様のもう一人の弟には近所の私の友人田中サツエさんが、婚約者として決っています。サツエさんもオキナ様からのお告げを得ている筈ですから、やがてそれ等が実現されて、神様やお馬様の霊験も明らかにされるでしょう」

ところで、白馬の弟馬に嫁ぐことになっている田中サツエさんは「私はまだオキナ様からのお告げも得ておりませんから何もわかりません」と否定しながらも、みつ子さんとは仲よく交際している。

とにかく、みちのくに起った二十世紀の神話？も新興宗教に発展するまでのこともなく、当人達は至って平穏無事な日常生活を送っている。ただ、みつ子さんが普通の娘さんと違うところは、夜になるとお馬様がやって来て、寝ている彼女に〝行〟なるものを授けるのだそうである。その〝行〟なるものの内容については多弁になったみつ子さんも決して語らない。

話題の奇習 チベット ？兄弟

○…[illegible] 妻のすくない土地では必然的に行われるところのものである。

○…ところでチベットで行われている結婚の様式は、逆縁婚に似て逆縁婚に非ず、一妻多夫にして一妻多夫に非ずというものなのだ。いわば妻のタライまわしみたいなことになるが、なんとも名づけようのない形式なのでまさに珍習奇習に属する。

○…すなわちチベットでは男の兄弟のためにたゞ一人の妻をしか迎えない。そしてもち論最初は長男が結婚式をあげる。初夜がすぎ幾夜かがすぎ、どうやら長男氏が満足すると、両親はこの長男を何かの用にかこつけて旅に出すのである。さて、こんどは次男の番だ。長男氏との幾夜かの疲れも癒えぬまゝに、嫁はあらためて次男氏との盛大な結婚式をあげあらためて初夜をむかえ、さらに幾夜かの事を重ねなければならぬのである。

○…こうして三男、四男、と兄弟が多ければ多いだけ、花嫁は繰り返し初夜に甦えり、夜ごとのつとめにはげまねばならぬという、いやはやの成行きで、兄弟たちは、いわゆる？兄弟のよしみを深めるものらしい。（作）

モダン歳く記 名女形の教訓

享保十四年七月十五日、元禄時代に天下無類といわれた歌舞伎の名女形芳沢あやめがこの日に没している。彼の芸については、「あやめ草」に詳しいが、歌舞伎では特に女形は形も心も女になり切ることを目標とし、女では真似のできないような中性的ともいえる醍醐味をもった女性美を創造したのだった。彼は「女形は貞女をみださぬというが本体なり、是を以ってほんの女と同じ道理を合点すべし」と必死の意気込みで男が女になり切ることを主張している。

「女は右の膝をたて、男は左の膝を立てる、歩み出しも同じ事とぞ弟子に教えられしも、その通りなるを吉沢氏（あやめ）ひそかに意見せられけるは、それはその通りなれども、見物の方へ向う方の膝をたてず、又見えによるべし、理窟ばかりにては歌舞伎にあらず、とかく実と歌舞伎と半分々々にするがよからんぞ」といい、また「舞台へ出てこゝは女子のかなめ所と思う心がつくほど男になるもの」だから「平常から女子にしくうざねば上手の女形とはいわれ難し」など私生活でも極端に女たれと教えているのである。（鮭）

風流世界譚（台湾）

自由結婚が盛んになったとはいえ結婚というものは親にしてみれば眼に入れても痛くないような可愛い子供の一生を決める大事な人生の岐路、なにかと本人より気をもむものです。未亡人の零明利、娘の玉美が結婚したいと打明けるので相手の李さんの人物や家柄を調べに出掛けました。しばらくして帰って来た明利ニコニコ笑いながら「玉美や。お前さんはほんとに利口ものだね。いゝ相手を見つけてよかった」「それじゃ、あたしたちの結婚許して下さるのネ、お母さん」「許すも許さぬもないよ。あんないゝムコを持って、お前はしあわせ者だ。李のお父さんがいうにはね。息子は、どうも長すぎるのが欠点でな。そういうんでね、わたしも、なに、うちの娘も深すぎるから、ちょうどツリ合いの取れた夫婦が出来て結構ですといってやったんだよ」玉美が顔を赤らめて「マァ、お母さんたらそんなことまで…」すると明利は「はずかしがることはないよお前。気が長いことと深いことを話し合っただけなんだから」

東海毒婦伝 青とかげ（7）

野沢純 土端一美画

片日影（一）

ヘエゝやげん堀は元祖名物、七色唐がらしー

赫ッとした日照りの町を、七味売りのひさぐ声が、唄うように流れて来る。

四万六千日の、ほうずき市も昨日と過ぎて、地獄の釜の蓋も開こうと云う盆三日。

けだるい真夏の昼さがりである。

路地は、そよとの風もなく、せまい庇あわいの、軒に吊るした風鈴も今は鳴らない。

天地寂寞。

聞えて来るのは、炒てつくような油蝉の声ばかりーそれが一層暑さをそゝる。

江戸深川富吉町。

御神燈のさがった、粋な格子戸標札に、

（清元延千賀）

と勘亭流の太文字で記された、師匠の住居。

縁起棚には、お弟子先から附届けの、お中元の品々が、処せましと積み重ねられてある。

今日、新たにそこへ加えられたのは、見事な折箱。見事でも「粗品」と書かれて、その下に「尾張屋内より」と読まれた。

いうまでもない、江戸の老舗で知られた名前。但し「喜兵衛」と書いてないのは、一人娘のおりうから、乳母を介しての、お頼み仁義の附届けと見える。

「まァまァ毎度済みませんこと。つい先達も、お店（たな）の旦那から、わざわざなにして頂いたに、こんな事までして頂いちゃァ……」

云いながら、縁起棚へ切火を打って、ざっと拝んで座に戻る延千賀師匠へ、お幾の方では待ち兼ねたように、

「お師匠さん―時にあの、早速でございますが」

みなまで云わせず頷きながら、

「えゝえゝ、いつぞやの武鑑の事でござんしょ？」

薄水色に桔梗ぼかし。涼しげな生平（きびら）姿に博多帯で、延千賀師匠は、団扇の風を送りながら、

「実はその事で、今日こちらから伺おうと思っていたところなんでござんすよ。と云うのは、あれから早速、お出入り先へ寄りましてね。武鑑を見せて頂いたところ、お旗本で早瀬と云う方、たしかにありました」

「え？ ありましたか？」

癖の、突き衿をしながら、お幾は思わず、膝をのり出す。

「ありましたけど、違うようです。お屋敷は駿河台、三千石のお旗本で、早瀬主水正と云うのが、その方ですけど、定紋は丸に鷹の羽。御近所でそれとなく当ってみると、お子さま方は皆女ばかりで、婿取りらしうござんすよ」

聞いてがっかり。とまった団扇が、又動き出す。

お幾は忙しく風を入れながら、

「では、あの、まるっきり…そのほかには、当てが無いんでございましょうか？」

「いえ、そうとも限りません。実は、ほかにも二三、出入りの衆に当って貰ってる処がござんしてね」

云いさした処へ、

「ちわァ！」

と頼るいせいのいいかけ声がした。

「おや、魚源さんかえ？ 丁度待ってたところなんだよ。なには、どうだったえ？ 昨日の話は？」

ラジオとテレビ

14日（木）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンプン❶彌次喜多道中記 北原文枝ほか 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇きょうの市況 30 三球受信機の組立 40 科学質問箱 大越伸ほか	10 東西こぼれ話 桂小金治 15 スイート・コンサート 25 おしゃれクイズ	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 寺部頼幸とココナツツ	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「少年探偵団」 35 歌謡百貨店 照菊ほか
7	15 録音ニュース 30 浪花演芸会 流行亭八千代・歌麿 浪花家芳子・市松 轟一蝶・美代子	00 名曲鑑賞 歌劇「椿姫」抜萃 乾杯の歌ほか 30 友への手紙 応募原稿発表 朗読 宍甘昭子ほか	10 録音ニュース 20 平岡養一の木琴独奏 30 ミュージツクレストラン 旗照夫 ペギー葉山ほか	00 録音ニュース 10 アンドレ・トフエルの歌 30 私は人気者 灰田勝彦 近藤圭子 前田六郎ほか	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 山田華子 30 浪曲明治維新「平和の曙」富士月の栄
8	00 歌の花ごよみ 松島詩子 津村謙 榎本美佐江 30 劇「由起子」津島恵子 木村功 七尾伶子ほか	05 きょうの国会から 20 教養特集 座談会「現代に生きること」武田泰淳 堀田善衛 梅崎春生	00 劇「モリシゲの東京無宿」森繁久彌 嵯峨三智子ほか 30 のんき裁判 徳川夢声 林伊佐緒 牧野周一ほか	00 浪曲学校 玉川勝太郎 井上幸男 三笑亭夢楽ほか 30 私と貴方の三つの歌 北川町子 松井八郎ほか	00 「巴里祭の夜」ABC管弦楽団 巴里祭ほか 30 愛読者ゲーム 有島一郎 高島春雄 円地文子ほか
9	05 ニュース解説 熊谷幸博 15 のんきタクシー「紐つきの財布」突破 一路ほか 40 鳩山さんと学友達	00 劇「源氏物語より・藤壷」汐見洋 山本安英ほか 45 放送詩集「フランス詩」朗読・マルク・メクレアン	10 歌謡漫談 川田晴久とダイナ・ブラザース 30 劇「ただひとりの人」新珠三千代 花柳武始ほか	00 ジヤズ・ゲーム 司会・ジエームス 黒田美治ほか 30 ワンダフルばあちゃん 松葉蝶子 東五九童ほか	00 声のスター・コンテスト 海老江寛 真弓田一夫ほか 30 新平家物語 信西穴籠の巻 朗読・徳川夢声
10	15 邦楽特集「偲草廻灯籠」伊十郎 延寿太夫 晴風他 40 ポケツト浪曲二葉百合子	00 ❶初級英語 小野嘉寿男 ❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 坂本政一とポルテニア 30 「杉の子の開拓地」	00 大学受験夏季実力錬成講座 英文和訳 岩田一男 30 解析（Ⅰ）田島一郎	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 35 民謡めぐり 盆踊り特集 市丸 宇都美満 鈴木正夫
11	10 オランダ便り小林美彌子 20 随筆「巴里祭」岡田八千代	05 予想外にのびた国際収支 20 女性ホルモン療法小林隆	10 芸術百話「チエーホフと日本文学」小林秀雄ほか	10 ❶第二組曲❷パストラールトカプリチオ 林リリ子	00 スポーツ・カレンダー 15 夢のリズム

テレビ

★NHK★ ◆6・00 があがあ くらぶ ◆6・30 「パリの想い出」岡本太郎◆7・10 映画「水禍に備える」◆7・30 浪花演芸会◆8・00 私の秘密 山本富士子ほか◆8・30 歌の花束 伊藤久男ほか◆9・15 鳩山首相学友と語る

★NTV★ ◆6・00 絵ばなし「蜜蜂マーヤ」◆6・15 国内スポーツ特集◆6・30 「花びらのうた」◆7・30 テレビ千一夜 三木のり平ほか◆8・00 おさらい会◆8・15 映画「髑髏銭」◆9・15 谷川岳と岩登り

★KR★ ◆6・00 シネマ案内◆6・20 映画「天竜川」◆7・00 タタレント・スカウト◆7・40 映画「海の闘魂」◆8・00 落語東京亭 ❶よいよいそば つば女❷双なり 円遊◆8・30 「パリ祭」越路吹雪ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 石井栄三	8・00 療養の時間 近藤宏二	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 おしやべりレデイ	7・45 放送論壇 松方義三郎
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・45 子供と水遊び（中島）	9・30 劇「青春のあるところ」	8・10 お早ようブーちゃん
8・30 趣味の手帖伴野文三郎	9・00 きょうの学校放送	10・10 名作アルバムみづうみ	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 連続劇「サザエさん」
10・05 けさの話題小秋元隆一	10・45 世界の動き 吉田悟郎	11・15 「うちの宿六」夏川静江	11・35 連続劇「東京の人」	9・45 思い出の歌：藤原義江
10・15 私の貰つた暑中見舞	11・45 日本古典 佐々木八郎	12・30 浪曲「大石妻子の別れ」	12・00 痴楽お笑い大学	10・15 夏に必要な栄養
0・30 夏のおどり（国際）	12・30 食後の音楽浜田庫之助	1・30 子供と神さま仏さま	1・15 ハナハナ・ボーイズ	11・00 連続劇「悦ちゃん」

あすの運勢 ＝七月十五日＝ 高島象山

▲一月生―何事も急変し不用意の為め迷惑災禍にあい易い外出注意
▲二月生―堅実にして一應の努力すれば予想以上の効果あり旅行吉
▲三月生―物事に自信と用心を失い不安を抱いて自ら失敗を招くせ
▲四月生―気長きは成功し気短きは失敗あり落ち着いて静なるは吉
▲五月生―物事に力を入れて努力すれば平穏の内に有利に至るなり
▲六月生―周囲から邪魔が起りて思い叶わず失敗あり控え目によし
▲七月生―運気衰退して収縮し活動柔弱に陥り或は他動的に災あり
▲八月生―政策に抑れず強硬態度の態度に進めば有利にして効あり
▲九月生―気運沈んで悶着を生じ事を乱し信を失ち損失迷惑有易し
▲十月生―環境の情勢を忘却して失策を生じ或は自己を過信し失敗
▲十一月生―何事も多少の苦労は起るも辛抱すれば努力効を奏す也
▲十二月生―何事も誤意潮情から悪評を受け人気を失し失態失敗有

本格的な舶来居酒屋 亀戸に現われた『麦』

舶来居酒屋というのは日本流のサロンやキャバレーの類と区別して、バーの中でも特にアチラの居酒屋気分を本来の形のまま伝えようとしたバーのことなんだろう。

そういえば舶来居酒屋という言葉にはバーという言葉にはない独得のニューアンスがある。イギリスの片田舎にありそうな、うらぶれてはいるけれど渋い建物、調度や設備も本式で上品な、そんな感じのバーを想像すればいい。

そうした舶来居酒屋の本命をゆくのが亀戸駅前、都電通りの「麦」である。入口近くに廻廊式の花壇があって、北方種の樹木が青々と葉を拡げ、ドアの感覚も十九世紀風の落着きをもっている。内部はカウンターのほか七ツ八ツのボックスがあり、客種はいろいろだが、それが一様に親しみ合っている気分は、下町のものであると同時に本来の居酒屋の姿だ。ピアノがあって上野出の女性がクラシックやシャンソンを奏でれば、数名の女性群のサービスも上品でしかもエロティッシュ。銀座並みというより、本当の舶来居酒屋の雰囲気で値段はトリスバー並みだ。

トリスハイボール50円、ビール一六〇円、生ビール一〇〇円。バーテンの腕がいいから、カクテルはみんなうまい。

☆東京の山小屋は？

夏山の季節になった。二人でリュックを背負って高原にキャンプを張り、心ゆく迄大気を吸えばそこは若人の天下だが、こんな楽しみはいくらしたくてもサラリーマンには一夏に三度か四度。あとは西武新宿駅前の「山小屋」で辛棒するのが定石である。

厚木を荒木のまま組立て、店の構えも部屋のスタイルも、北ア上高地あたりの「山小屋」そのもの。居ながらにして高原の涼風に吹かれる感じは、精能のいい冷房装置のせいだろう。ロシヤの小説にでも登場しそうな庶民的で親しめる雰囲気。しかも一杯50円のコーヒーだけで朝の五時迄ネバってもいいというアベックに親切な経営ぶりもうれしい。二人でリュックを背負って、いま新宿駅につきましたという恰好よろしく、夕刻五時か六時に入って行き、先ず〝山小屋カクテル〟にノーブルな味と香りを楽しむのもいい。ほのかな酔いが、二人のハートを炎えたたせたら、あとはセミ・クラシックの音楽に耳傾けて珈琲で語り明かせばここは二人だけの山小屋である。

山小屋 西武新宿駅前

☆飲み代をロハにするデフレ化のお遊び方

夏マケもこれなら退散、というデフレ化のお遊び。リュウインの下る思い請合いのキャバレーを教えよう。国電蒲田駅西口、パレス座隣りの「人形の家」である。

先ず狙いはサービスタイムがいい。入場すれば洩れなく謝恩サービス券をくれるから、それを大事にもって堂々と座る。ビール二本にお通しつきノーチップ。九時迄だから、時間切れまで飲むつもりなら二枚も買っておくこと。さてラッキーカードには抽選で一等五千円、二等二千円、三等千円、四等男物ゆかた地一反、等外には全部に靴下一足進呈というお土産がつく。どう転んでも飲み代ロハになるというケタ外れのお遊びだ。女性は四十人。みんなダンスが上手で、ヌードショーのおまけがつく。バンドも専属で、値段が信じ難い程の立派なキャバレーだ。

猛暑の連続攻撃！

まだ二、三日、そのあとは？

〇…全くやりきれない暑さの連続。燃えるような陽射しにきょう十四日も三十二度線を軽く突破。アスファルトはとけてタイヤの縞模様が浮彫りにされれば、氷屋さんは〝わが世の夏〟を謳歌している。空にはソフト・アイスのような真白い入道雲がムクムクと盛上っている。

〇…あまりの暑さに神奈川県下二千町歩のミカンまでアゴを出して落果しはじめれば、どこの事務所もどこの学校も完全にグロッキー「それじゃいっそのこと水泳指導でもしましょう」と稲田登戸の某小学校では近くの多摩川で泳ぎはじめた。よい子たちは「これならいくら暑くても平ちゃらだ」と大喜び。

〇…お天気相談所によれば、このお天気はまだ二、三日続く。台風七号の進路如何でその後のお天気はわからないが、それがすぎると「今月一パイは雨が降らないでしょう」とのこと。

【写真は入道雲の下で水泳を楽しむよい子たち＝稲田登戸付近にて】

北上続く 台風7号

中央気象台は台風第七号、そのごの動きについて十四日午前七時四十五分つぎのように発表した。

台風は相変らず毎時十五キロの速さで北上を続け、十四日朝六時には沖縄の北西約三百キロの北緯二十七度二十五分東経百二十五度十分に達し、中心の気圧は九百三十ミリバール、中心付近の最大風速は六十メートルくらい、中心から半径二百キロ以内では風速二十五メートル以上の暴風雨となっている。こんごも北上を続ける見込みなので東海（東シナ海）や九州西方海上の船舶はもちろん黄海方面の船舶も警戒を要する。

異國に奏でる日本舞踊哀歌

五条珠実ご難興行

手厳しい違約罰金

一文なしでドサ回り稼ぎ

最悪の場合強制送還

さいきん日本舞踊の海外進出が盛んで、去る五日花柳美保が帰国したと思ったら二十七日には吾妻徳穂、藤間万三哉、坂東鶴之助ら一行が賑やかに渡欧する。だがこうした裏には涙もあれば笑もある。その一例が去る四月下旬華やかに羽田空港をたちヨーロッパへ巡演の旅にでた五条珠実一行の〝舞踊団異国の悲劇〟である。欧州に着いた早々人数など契約違反騒ぎで、公演がうまくゆかず、団員が苦心さんたんの結果どうやら五月末からの公演には難関を切り抜けつつあるが、それでも一行は苦難のみちをあるいており、場合によっては強制送還もやむを得ぬという事態に立至っているという。日本舞踊海外発展の夢は、なぜこうも踏みにじられたか、最近寄せられた便りからその状況をみてみよう。

五条　珠実

坂東新太郎

竹本　綾子

五条　雅巳

このほど一行中の田中伝三郎、坂東新太郎、杵屋三蔵、竹本綾子、竹本綾作ほかの人々がチューリッヒから手紙を寄せてきた。その内容によると公演は最初から人数の点でつまずき一行はドサ回りまでやった。不安を感じた人々が帰国しようとしたところ、自弁の旅費も舞踊団側に使われ帰るに帰られず、留守宅の人々を心配させている。

【手紙の内容】ぜんいん足なし。五条さんも一文もないのです。五条さんは運動金を借りるため五条さんは運動しておりますが、それも…（中略）一番初めにきた人は団に納めた帰りの飛行機の切符があると思ったらお金を入れてなかったため、びっくりして腰をぬかす人も出たほどで皆テンヤワンヤの大さわぎです。（中略）私達は夜も寝ずに話し合った結果「最悪の場合には三味線を売って貨物船で帰ろう」

一行の座員から家族へ送られた手紙

以上のような悲痛な決心をするものも出ているといわれ、また坂東新太郎は、到着以来の無理が原因で胃カイヨウとなり六月七日、手術のためウィーンで入院、万一の場合にと持参した三十数万円を医療費につかい果し、この十五日ごろ快癒するので麻布の留守宅に連絡、家族が無理算段して送った金で一足先に近く帰国するという。

こんどの渡欧は最初から資金などの面で取沙汰されており、五条珠実渡欧後援会（会長・安藤正純、副会長・楢橋渡両氏）も殆んど名ばかりで彼女は赤坂仲之町の自宅を売って出発したという。ロンドンの興行師バンウィック氏ほかと契約した二十六名の人員も、これに要する旅費の調達がつかないため揃って出発できず、五条雅巳、山川真士ほか現在の一行十六人（踊り八、地方八）も第一回六人、第二回六人と分散出発。これでお茶をにごすつもりだったが契約違反と騒がれ目算がはずれ、あわてて第三陣の四人を呼んだ。出発が予定よりズレたため契約していたテレビ出演も不可能となり到着そうそう弁償金を支払わされる始末だった。

右について留守家族が五条後援会に談じこんだところ、代表者の野口正好氏は「とにかく成功さえすればいいんじゃないか。国際的な大きな仕事だということを理解して、家元を絶対に信用すればよい。騒がないでくれ、一部の人々が納めた帰りの切符も、契約の切れる日に間に合わせる。最近家元からの連絡で七月一日から六週間の契約があったというから大丈夫だ。こんご八月中旬まで北欧を回り、ロンドンからイタリア、フランスを回って秋に帰る」といっているが、留守家族のなかには早くも本人宛てに「領事に泣きこんで強制送還して貰え」と連絡しているものもあり、同団こんごの動きが注目を浴びている。

ハワイアンの夕べ
御来店のお客様にレイ進呈
バッキー白片とアロハハワイアンズ
ハワイアンフラショウ9時
完全ノーチップ制 キャバレー
ニュー赤松
上野池之端 (83) 4114—16

毒蛾はびこる

都内に現われた毒ガはその後各地で猛威をふるっているが、十三日にも葛飾区で三十一名が被害を受けた。葛飾区鎌倉町六三四理髪業鳥海治さん(四〇)ほか付近四ヵ所で三十一名が毒ガに刺されジンマシン様の炎症を起した。このほか十三日中に十二ヵ所十三名の被害届出があった。

脳炎また二名

[illegible]

女39人を売飛ばす

人身売買 東海の三羽烏挙る

本所署では十四日までに墨田区向島三の一二無職田中玉枝こと奥村リエ(五四)その情夫豊島区高松町二の一五クツ屋岡島長三郎(五三)、名古屋市熱田区旗尾町一四無職中尾志づ(五四)荒川区南千住六の一三一お好み焼屋安藤よね(五四)をそれぞれ児童福祉法違反、職安法違反容疑で奥村を逮捕送検、他の三名を書類送検、逃走中の植松貞義ら八名を指名手配した。

調べでは奥村は中尾らと共謀、中尾の住む名古屋市付近から十五歳一人、十六歳二人の三人の少女を「東京で芸者になればもうかる」と甘言で連れだし、少女A(一六)を二十八年二月ごろから九月ごろまでの間台東区浅草千束町二丁目料亭「平松」ほか十五ヵ所にあっせんして客をとらせ、他の二名は逃走中の大沢某と共謀、駐留軍専門のホテルに周旋して約二十万円の利益をあげたほか

名古屋市熱田区西白鳥町梅田きみさん(三〇)＝仮名＝ほか三十五名を同様、横浜、伊東、別府、熱海、大宮、都内吉原、立川などの特飲店に売りとばして約二百万円の巨利をむさぼっていた。奥村は人身売買で〝東海の三羽烏〟の一人といわれ、連れてきた女の子は情夫の岡島が例外なく手をつけてから売りとばすという悪ラツなやり口であった。

巴里祭 開催中 サロン松 神田駅前

首絞めて放り出す

自動車強盗ひん発 下高井戸で

十四日午前零時五十五分ごろ目黒区原町一二六〇大都タクシー太田永進運転手(四四)は、国電新宿駅東口付近から乗せた三人組の男に杉並区下高井戸四の九七四先暗がりで、いきなり短刀で脅され、さらに首を絞められ現金七千円を奪われたうえ、車外にほうりだされ、運転していた小型タクシーを奪われたと高井戸署に届出た。太田さんの話では賊はいずれも五尺二、三寸ぐらい二十三、四歳前後で、二人は白開キンシャツを着ていたという。

同署ではさる十日午前一時半ごろこの現場付近で江東区大島町二の三西東栄タクシー浅井孫一運転手(五二)が、さらに十二日未明には杉並区和田本町立正交正会グランド裏の暗がりで、品川区西大崎一の九二日本都市交通小林鶴吉運転手(三九)がいずれも同様人相風態の三人組に襲われた事件が未解決なのと、今月始めごろから城西地区一帯で頻発している二人組自動車強盗事件の犯人にも似ているので、関連があるものとみて隣接の杉並中野、荻窪各署、警視庁捜査一課に連絡合同捜査を行っている。

バイクで激突即死

十四日午前零時四十分ごろ世田谷区玉川等々力一の五九の七東急自由ケ丘駅保線区助役新井直四郎さん(三〇)はモーターバイクで帰宅の途中スピードを出しすぎたため運転をあやまり同区玉川尾山町四八先の街路樹に激突、車はめちゃめちゃとなり新井さんは頭蓋底骨折で即死した。

泥棒兼ねアサリ売り

60件 カメラなど四百万円

深川署では十四日までに千葉県東葛飾郡浦安町猫実一八あさり行商人前科一犯斎藤市次(三三)同人実弟春一(三三)東京都江戸川区葛西町二の三七三六同並木七五三太郎(三三)の三名を窃盗容疑で逮捕、共犯の千葉県東葛飾郡浦安町あさり行商人内田繁雄(三五)を指名手配した。

調べでは斎藤らは本年一月ごろから都内山手、京浜沿線、川崎、横浜一帯をあさりなどの行商を装って家人が留守とみるや窃盗を働いていたもので、五月十一日都内品川区小山台一の四〇二会社員渡辺襄行さん(三八)方から背広六着（十二万円相当）を盗み出したほか、逮捕されるまで、背広、カメラ、時計など六十件約四百点四百万円相当を盗んだことを自供した。

夏枯れなんぞ吹っ飛ばせ

❾私設質屋

質屋といっても、公設…に対する街の質屋ではな…、質屋法や質屋営業法な…には全然縁のない立ン…

スッた連中に融資

利息5割、穴場でボロ儲け

[illegible]

同性相手 自殺狂少年

十四日午前一時ごろ中央区矢ノ倉一三先花火桟敷建築作業所で若い男二人が睡眠薬を飲んで同性心中を図っているのを通行人が発見、久松署に届出るとともに近くの病院に収容したが二人とも一命は取り止めた。同署の調べでは大阪市阿倍野区北畠西二の二無職山本幸雄さん(一九)と山口県萩市山田区玉井浦倉井無職山中一男さん(二三)で山本さんは自殺狂で、いままでにも十数回自殺を図ったことがあり今回も車内で一緒になった山中さんを誘ったものらしい。

新宿キャバレー さくらめんと

中村代議士令弟輪禍

十四日午前九時十五分ごろ練馬区南町二の三六一六先西武池袋線桜台—江古田間の踏切で同町三の六〇四一練馬区議中村旧一さん(五二)＝民主党中村梅吉代議士の実弟＝は横断しようとして飯能発上り池袋行電車＝吉野武治運転士＝にはねられ即死した。現場は警報機も遮断機もない上カーブしているので事故が多く〝魔の踏切〟である。

暴行して時計奪う

十三日夜八時ごろ都下北多摩郡調布市大町先路上で京王線柴崎駅から帰宅途中の同郡狛江町小足立七七四無職大川きみさん(三九)＝仮名＝は後をつけてきた二十七、八歳五尺二、三寸人夫風の男に匕首で脅かされ、暴行された上腕時計一個を奪われたと調布署に届出た。

狭山公園に首縊り男

十四日午前四時五十分ごろ都下北多摩郡大和町清水七一三狭山公園入口わきの草むらに囲まれた排水溝の中に三十五、六歳、ネズミ色ポーラーのズボン、茶色ラバソール、黒ロイドメガネの男が死んでいるのを発見立川署に届出た。警視庁から安達捜査一課長が現場に急行、調べているが、男は首に自分のバンドを巻きつけており、外傷もなく自殺とみられる。

ふし穴

◇銀座の雑貨商殺しの有力容疑者岩本平(三〇)は、〝多羅尾伴内〟ばりの自称秘密探偵で、指紋を残さぬにはゴム手袋を使うことだ—などと放言していたそうだが、探偵術を悪用して殺人をされてはまったくかなわない

探偵といえば先日江戸川乱歩氏が、女流探偵で知られる佐藤みどりさん(三九)の結婚披露宴でテーブルスピーチをした。「佐藤女史は敏腕探偵だが、家庭での探偵はやめてほしい」という趣意のもの。私立探偵の主な仕事は素行調査なのだが、佐藤さんは「あたくし個人としては 石部金吉の 堅物より は、多少ハナセル人のほうが好き」とおっしゃった。さすが浮世の裏を知りぬいた探偵さんだけある—と満座カンシン。

アベック釣舟

◇海のシーズンに入って連日海岸は芋を洗う賑いだが、湘南方面の海で人気を集めているのはゴムの浮船、アベックで沖に漕いでゆき、〝人里〟はなれたところはよしとなれば、イカリをおろしてもらい、邪魔もののアルバイト学生の船頭さんはザンブと飛込んで泳いで帰る。あとは陽除けをスッポリかぶせてお二人は何をしようとご自由…ての話。

とはある船宿でもありますよ—今を下す娘さんってちょうだい」とハッキリ命ん、もういいから、アッチに行に退避する。もっとも「船頭さませると、船頭さんは泳いで岸程度魚もとって食事の支度をすアベックで大繁昌。投網である東京湾あたりの網船でも最近はな具合。これに対抗したのか、

◇後楽園の野球放送はNTVの正力社長と田辺後楽園社長との特殊関係から、NTV以外のテレビ放送はオミットされてきたが、十六、七日の毎日—西鉄ナイターの日はちょうどプロレスをNTVが放送するので、KRテレビはチャンスとばかり申し込んだ。ところがNTVは「いや、プロレスがはじまるまでプロ野球の前半だけでも放送する」と頑張ったのでKRまたも敗退。NTV「そんなにやりたいなら、東京にもう一つ球場を作ればよい」と大見得を切っているが、テレビ合戦はプロレスそこのけの組んず、ほぐれつの熱戦、デフレ下、スポンサーつきスポーツ放送は〝虎の子〟であるためらしい。（黄）

東京最大 ストリップショウが見られる喫茶ホール
出演バンド 東京キューバンエース 東京タ・ゴオーケストラ
アイスクリーム付百円 平日五時・日祭正午
浅草グランド 浅草松屋7階

大井競馬 12時半 後半戦 14・15・16・17

独眼灯

〇…デフレ吹飛ばしの宣伝戦に珍戦術が続出するこの頃、これは〝マネキン人形供養〟という変ったお祭りが京都の某マネキン製作会社の手で行われ、京スズメの話題を呼んだ。【写真】

〇…〝供養〟は十三日午後三時から比叡山蛇ケ池で美術、ファッション界、百貨店などのお得意先三百名を集めて厳かに行われたがのりとはなんと「へイ・マンボ・あなかしこ」というマンボ調。

〇…サル、クマ、カッパなどの仮装人形も登場、盛沢山の景物に人間様の方は結構楽しそうだったが、火の中に投込まれた当のマネキン人形、人間様の供養にもひややかな表情をくずさず、炎のなかに成仏？していった。（京都）

あすのスポーツ

△プロ野球 国鉄対巨人（七時、川崎）△庭球全日本学生選手権（十時、田園）△パ・リーグ(…)△ボクシング 田口対戸塚(六回戦(六時半、東京スケート場)△プロ・レス 国際東京大会（六時、蔵前国技館）△競馬 大井

大宮競輪最終日成績

(十五日) ◇第一B ❶花村光2分8秒6 ❷小山政½身 ❸田山淳 (単) 100円 (複) 100円100円 (連) ❸—❶ 1120円 ◇第二A (千五百) ❶小沢単2分8秒1 ❷小川安¼輪 ❸大鋒繁 (単) 70円 (複) 130円 100円 (連) ❹—❹ 3600円

夏の愛読者サービス【8月31日まで】

箱根芦の湖畔・湖尻バンガロー村行・日バス運行

内外タイムス 山の家優待旅行券

☆参加会費・(一名) 五五〇円 (東京、箱根往復料金と山の家、観光船優待券付) ☆優待特典・山の家湖尻バンガロー宿泊料 (三人用三〇〇円を一五〇円、五人用五〇〇円を二五〇円) 他十二人用から五〇人用まで、すべて半額☆コース・東京(…)八重洲口発 (前八時) 箱根町着 (正午) 観光船乗船 (往一四〇円を五〇円) 湖尻桃源台着、サービスカーで湖尻バンガロー着後一時一泊、帰路は山の家発 (後二時) 東京着 (後八時) ☆横浜方面の方は横浜前発 (前八時) ☆なお詳細問合せ、申込は本社事業部(56)八六四六、箱根登山東京出張所(28)四四〇二、赤木屋ガイド(27)〇一六、八重洲口ガイド(23)二一三一、松坂屋チケットビューロー・上野(83)四八八四、銀座(57)四一六一、箱根登山横浜営業所(神奈川)九(…)七

この券切抜きご持参の方に山の家優待割引致します。

内外タイムス社

美人の中の美人の集い 喫茶の中のピカ一喫茶
アルサロ喫茶
完全冷房・11時→11時
ビール180円・珈琲70円
明日では遅すぎる
銀座8・天国裏

続 情炎の千代田城（177）

岩崎栄　寺本忠雄画

天主の怪（十）

黒ジュスの烏帽子兜、三段下りの綴錣、黒地に白く花菱を抜いた胸当、緋羅紗の火事羽織、紫ジュスの野袴、皮の靴――長州鍛みがきの鷹口小脇に、同じような火事かんばんの一隊五十人ばかりに将として、わき目もふらず、まっしぐらに、降りしきる火の粉の下を左京の方御殿に駈けつけた絵島のりゝしく颯爽とした風貌は、さながら絵にかいた神功皇后そっくりと見えた。

将軍家宣はこの日、朝から表には出ず、めでたい右近の方、一のお部屋に暮らしたのであったが、いくら可愛くても、いわた帯をしめた女性と同衾は禁じられてあるので夜は左京の方という寸法だった。

鍋松はすでに眠っていたので、改めてまた酒の支度をさせ、女中たちも下段の間に侍べらし、歌など詠まして大変なだんらんであった。

左京の方も、右近側から来た毒膳の一件は、決して上さまのお耳にお入れなさらぬよう、と絵島から固くとめられていたから、そんなことはツユほども現わさず、久しぶりのお泊りに、今宵は女の花を満開に咲き迎えているのだった。

「あれ！」

「おや、なにごとか」

俄に女中どもがザワつきだした。

「なんとしたぞえ」

左京の方が聞き耳をたてゝ振り向いた。

「なにごとにございまするか――遠くのあたりが騒がしくいたし居ります」

家宣もハッとした表情を傾けていたが、

「出火ではないか」

と甜走った声を出した。暫くの間―中腰になりかけている女中もいるところへ、果して慌しく、パタパターパタパタ―廊下を駈けてくるものがある。

次の間にいた女中が立って、サッと杉戸を引きあけるのと、

「申上げます。たゞいま出火にござります」と呼ぶのと同時だった。

「どちらからでござります」

「火元はわかりませぬが、たゞいま御番衆詰所が燃えさかって居ります」

いゝすてゝこの表使は　断去った。

「それっ、みなさま」

女中が総立ちになる。

「鍋松を！」

家宣が突っ立つ。その腰に纒って、左京の方が、

「どう致しましょう」

とおろおろ声だ。

「おうろたえめさるなっ」

絵島が飛び込んで来た。続いて、女軍出陣のように勇ましい花の部隊が雪崩れ込む。

「上様にも、お部屋さまにも、火急御免を願いまする。先ず第一は若君さま」

ズッと奥に踏み込んで行ったと思うと、泣きわめく鍋松を左の腕に抱き上げて来た。そして、度を失い、なすところを知らず、たゞウロウロと立ち騒ぐ女中たちに烈しい声で一喝した。

「なにを腑抜けておいでじゃ」

そこへまた、表使いだ。

「火元ッ、本丸のあたりとのことにございます」

絵島が、

「早く火事かんばんをおつけなさらぬかっ」

そして、部下のものに、

「お手回りの品々、取りまとめてッ」

「上様に十人、お部屋様に五人、お付き添い申すのじゃ」

ジェニー愛田、コロムビアと契約

昨年日劇にデビュー以来その去就が注目されていた混血の新進ジャズ・シンガー、ジェニー井上は、こんどコロムビアと契約が成立、第一回吹込を完了した。

彼女は満十五歳、日本人を父に、印度人を母にしてジャワに生れ、神戸のミッション・スクール、セント・メリー女学院を中退、二十九年度第一回マーキュリー・コンクールが大阪で行われた際「青いカナリヤ」を歌って第一位に入選。ついでビクターのコンクールでも第一位となり、マーキュリー、ビクター両社間で盛んに入社勧誘が行われた結果、結局十一月一日づけでマーキュリーと準専属の仮契約が結ばれ「ママ・ドル・ソング」を吹込んだ。ところがこのレコードは同社と彼女の家庭事情のゴタゴタから遂に発売されずに終ったが、こんどいよいよコロムビアから、八月封切予定のユナイト映画「旅情」の主題歌が、柳沢真一の「そよ風と私」と組合せで八月一日、臨発として発売されることになったもの。

なお彼女は小さいときから音楽が好きで、日本語のほかに英、仏、印の三ヵ国語がペラペラだが、家庭事情がいろ〳〵複雑なため、レコード歌手としてコロムビアからデビューするに際して、所属のジャズメン・クラブと合議の上ジェニー愛田と名を改めることになっている。【写真はジェニー愛田】

有馬稲子、新東宝「二号」に出演

新東宝では瑞穂春海監督の「二号」（脚本井手俊郎）の主演に木暮実千代のほか、有馬稲子を決定した。有馬は新東宝初出演である。

ハリウッド スターの独立プロ・ブーム

ディズニーやクレイマー、あるいは近々、イタリアとユーゴ両政府の援助の下に軍隊四個師団を使用してトルストイの大作「戦争と平和」を撮るというセルズニックなどの大プロデューサーが従来、自分のプロダクションを持って優秀作品を作って来たことはよく知られているが、最近ハリウッドではプロデューサーや監督などに限らず、俳優が続々と独立プロを作って活発に活動していることが注目されている。自分のプロでコッテリ稼ごうというのやら、あるいは個性を十分生かす芸術的意欲の発露やらいろいろだが、ともかく、資本金百万円とか二百万円とかでグループを作り、ナケナシの金を集めて、挙句の果ては製作費を下回る金で大会社に買取らせる――といったみみっちい日本の独立プロとは大分スケールがちがう。さて、ではハリウッドの独立プロ・ブームの実状は――

ボガート　ウェイン　ランカスター　ホープ

ラッセル　モンロウ　ウィンタース

調子に乗ったランカスター　今度は自ら監督、主演　トタンに〝未登録〟で監督協会から横槍

たとえばハンフリー・ボガートがどこかのテレビのクイズ番組に三十分ばかりチョロリと顔を出すとする。すると忽ち二万ドル（約七百二十万円）がとこのチェック（小切手）がギャラとして支払われるのである。映画になると勿論この十倍は出すから、独立プロを起すといっても、一本に平気で二百万ドル（約七億二千万円）から五百万ドル（約十八億円）位かけたフィルムを撮る。つまり十分金をかけ、スタッフ、キャストも一流を使うから当らないわけはない。当るから「ヨシ、おれも一つ」とますます独立プロ設立の気運が高まるというものである。

ロバート・フェローズと組んでバトジャック・プロを起したジョン・ウェインは「紅の翼」に次いで「男の魂」を撮り上げ、こんどは中国を背景とした海洋ドラマ「血の水路」を撮ろうと、目下ハワイにロケーションを行っている。

ハロルド・ヘクトと組んでヘクト・ランカスター・プロを作ったバート・ランカスターは「アパッチ」に続き、クーパーと共演した活劇もの「ヴェラクルス」が大当りで俄然ウケに入り、三本目に自ら監督主演して「ケンタッキー夫人」を撮った。どうも調子がいいとつい問題を起しがちなもの。彼もいろ〳〵と分業化されて、縄張りのうるさいアメリカ映画界のシキタリをしらぬわけではなかったろうが、うっかりして映画監督協会に未登録のまゝに監督をやってのけたものである。さあ、おさまらないのが協会事務局の面々。〝無免許運転〟だというわけでイチャモンがついた。ところが強気な彼は問題未解決のまゝに現在は英国に渡ってジーナ・ロロブリジーダを相手役にキャロル・リード演出で「トラペーズ」を作っている。

喜劇王も大張切り

この二人に次いで活発なのはカーク・ダグラスのブリナ・プロだ。第一回作は「北欧海賊」で監督はリチャード・フライシャー、第二作はオランダの生んだ画家ゴッホの伝記「ヴァン・ゴッホ物語」を製作するが、ダグラスのゴッホがどれほど発狂して死んだ大芸術家の面影を表現しうるか話題となっている。喜劇王ダニー・ケイもデナ・プロを持っており、すでに第一作「宮廷道化師」を完成。続いて「レット・ニコルス物語」に取組んでいる。ケイと並ぶコメディアン、ボップ・ホープのホープ・プロも意味深な題名の「お金のためではない」を「お金のためでなく、大会社の型にはまった喜劇映画にウンザリしたので…（？）」作る予定だ。また極めてしゃれた喜劇の「悪魔をやっつけろ」を「黄金」の名匠ジョン・ヒューストン演出で撮ったハンフリー・ボガードのサンタナ・プロ、タイロン・パワーのコパ・プロなどがあり、二度も来日したウィリアム・ホールデンも独立プロを起す意向を発表している。

戦後派二枚目として女学生に人気のあるロバート・ミッチャムのバンディト・プロも第一作「バンディト」の製作準備に入った。

張り合う両姐ご　ラッセルとモンロウ

こういう男優の独立プロ・ブームに煽られたか、先ずお色気女優の戦前派NO・1ジェーン・ラッセル姐御が夫のボブ・ウォルターフィールドの援助を得てラス・フィールド・ウェンジャ・プロという長い題名のプロを起し、はるばるパリまでロケを行い、リチャード・セール演出で「紳士はブルネット娘と結婚する」を完成した。これは明らかに商売敵で戦後派のモンロウがブロンド頭で、彼女に「紳士は金髪がお好き」というヒット作があるのを明かに意識したブルネット頭のラッセルらしい作品だ。「こういう点、やっぱり女の独立プロてえのは、われ〳〵とはちっとセンスが違うよ」と〝野郎プロ〟の方では冷かし半分ウワサしているようだ。さらに面白いのは、当の相手のモンロウが「そんなら、私も負けてられないわ」とばかり独立プロを起すと発表し、契約会社のフォックスをあわてさせたが、どうやらこれは〝流産〟になったようである。

一番新しいところでは、夫ヴィットリオ・ガスマンと正式に離婚したシェリー・ウィンタースが最近独立プロを起したが、映画界ではこのごろ「欲望という名の電車」「セールスマンの死」「喝采」「もず」などヒット劇映画化がさかんなので、そうした流行の波に乗り、ブロードウェイの当り狂言を第一作として映画化することになった。脚本もでき、来月から製作に着手するが、その題が何と「結婚披露宴」なので、ハリウッド雀は「この映画ができるころには、彼女にもガスマンの後釜ができて、第一作披露と一緒に亭主の第二作を披露するんじゃないか」などとウワサしている。

ボクの下積時代（26）

久松静児の巻

【今年】はスイカの次に久松静児が当った、というほど彼の仕事ぶりは颯爽としている。つまり昭和五年に第一外語を中退して新興映画京都助監督部へ入社して以来、二十五年目でやっと実力が認められたということなのだ。それほどに従来の彼は地味な存在であったし、作品も会社おしきせの大甘メロドラマが多かった。だから彼にいわせれば「ついこの間までが下積み時代で昭和二十七年に〝安宅家の人々〟を作り〝秘密〟を製作した頃からがやっと一本になった出発といえるでしょう」と鼻の頭に汗をかいてボソリとつぶやくのだ。

とにかくこれくらい我慢強い男もそうそういるものではない。いつも二十一貫という肥った体をオットリと構えて儲かる作品会社の喜ぶメロドラマを製作してきたのである。だからその憤まんがいつも内部に蓄積されていたのは無理のない話で、これが彼の場合はアセモになって発散したというのだから愉快だ。

つまり春夏秋冬、彼にはアセモができ常に鼻の頭には汗がポツポツと浮んでいる次第なのである。そこで彼を評して新興京都の助監督仲間は「アセモの久やん」などと呼んで親しんでいた。彼はいつも「テンカフン」を携帯しセットでも休憩時間などには真っ裸になってパタパタと粉をふっている姿が見られたという話だ。さてある日、ある時、彼は例のパタパタをセットの隅でやっていたのだが、そこへひょっこり入ってきたのが、その頃新興でピカ一スターだった山路ふみ子なのである。彼女がヒョイと見ると片隅に上半身裸の大男が何やら白い粉を体中にふりかけている。ライトは大きいのが消してあるだけだから余計彼の白い体が目立つ。お色気女優山路もこのシーンにはさすがギクリとしたわけだが、以来この「アセモの久やん」すっかり山路姐御のお気に入りになってしまい、少々無理な演技の注文でも、久やんが出ていけばやってくれることとは相成ったのである。といって彼と彼女がどうなったというわけではないんで結局彼女は久松の見事な「アセモの美」にポーッとなっちゃったという話なのである。そして二十年。このアセモ青年は四十三歳となり「警察日記」「渡り鳥いつ帰る」「月夜の傘」と文芸大作ばかり手がける巨匠となった。だから昔のように何でも我慢しなくなった。気にいらなければポンポンいうし俳優にもジャンジャンダメを出す。そこで彼はアセモができなくなったようだが、その代り彼の下についている助監督にはこのところ「テンカフン」が大流行しているようだ、というお話なのである。

〝アセモ〟の肉体美　ポーッとなった山路ふみ子

久松監督

はと笛

▽…突如ストリップの浅草座に登場して話題をまいたポーランド生れの舞姫？ガリーナ・パヴロヴァは、同座支配人の懇請にもかかわらず、遂にストリップにならずに「考えておきます、とに角暫く休ませてほしい、気が変ったらまた来るからその時は是非使って下さい」といったまゝ舞台から姿を消した。

▽…いままでは時々楽屋へ遊びに来る程度だが、また舞台へ出たい気配は十分らしく、支配人にいわせれば「おかげでタンマリ儲けさせて貰いましたがネ、何もかも承知の上で牽制してるんだからとてもやりきれませんや」とのこと。【写真はガリーナ・パヴロヴァ】

名選都々逸　石井きんざ選

人目があるのにあの仲の良さ　二人きりならなんとしよう　渋谷・山本邦花

立てた新茶に茶柱立って　待つ身に嬉しく噂む　浦和・尾迫道夫

発売禁止の本また讃んで　なんとか抜けたいケンタイ期　国分寺・佐藤千恵子

田植する娘にそよ風吹いて　アゼで蛙の子が踊る　中野・高野芸太郎

紹介をされて初めて映画で逢った　時から君が好きだった　甲府・牛木孤月

◇

お茶だお花と習った甲斐も　なくて売れずにいる娘　選者

おしゃべり横丁

害虫マンエン

お国は自由で住みよい国と聞いて参りましたので、ハイ。―中共引揚害虫一同

肉体と閨房　若返り四十八手（その四）

海へ！山へ！の観光宣伝もさることながら、毎日この暑さですから休日ともなれば海も山も大変な人出です。朝夕汗とホコリの電車にもまれて、会社に通う林田君も、こんどの日曜は奥さんと一緒に海へ行こうと約束しました。

結婚後すでに三年もたつが、子供もいないのに二人で外出したことがないのですから、奥さんは嬉しくてお勝手仕事も手に付きません。さて日曜日がきましたが、都会の塵を海浜で―はよかったが、人で人で通勤電車どころの騒ぎではありません。とにかくその朝はじめて袖を通したワンピースが汗ぐっしょりになって海に着きました。それでも若さで張切った肉体の奥さんは、平気なもので抜き手を切って泳いでいます。「こんなんなら、会社へ行ってる方がよっぽどラクだ」と、考えていた林田君も、ヌードに近い水着一枚の奥さんを眼の前にして、ウーンとうなるまではいいが、あの素晴しい肉体を毎晩？と閨房を思い出し、また今夜も？と、トンダ方に思いをはしらせていましたが、潮が上げて波が高くなる頃またまた電車にもまれて家に帰りました。その夜の閨房を描いていたはずの林田君は何のことはなく疲れが先でグッスリ寝込んで終いましたそのうえ翌日の会社でも居眠りばかり、これをみかねた課長は「コレを常用したまえ―」と〝ダブル・ヘルス〟をくれました。

ガーデンパーティの気分も出せる　サロン・花園

鶴見にちょっと変ったバーがある。十一日開店したばかりの「サロン・花園」だ。目印は駅西口の福田眼科医院横。ドアを押して店内に入るとアッと驚くのは様式である。西洋庭園の造りとシャレて、芝生も広々としているし樹々も本物、泉水と緑の配置に凝りをみせてそこはガーデン・パーティの気分満点だ。連日一流バンドの演奏もあり友人、恋人づれは勿論だが、奥さん同伴で行っても少しも恥かしくない上品さもある。踊れば野外パーティの気分も出せるが、数十名の女性はみんなダンス上手だから、独りで行っても不便はない。目下夏期サービスの実施中で入場者には洩れなく同店経営の海の家「カッパ」＝金沢八景海水浴場＝の無料休息券をくれるという。毎日曜日には「カッパ」の余興とハワイアンバンドの演奏つきだ。電話鶴見（5）三三七七

☆世界の酒ザッと三百余種を揃える　バー「ベラミ」

ブドー酒はバーで飲むものではないというのは、日本だけの話である。日本人はケチで一本飲み切らないから、残されたブドー酒の味が落ちる。したがってバーでは扱い難くて商売にならぬ、というのがその理由だ。

しかし、これは前にいった通り日本的なおハナシであって、よく売れるバーでなら一向差支えないことだ。だが、ブドー酒がよく売れるバーなどそうあるものではないし、第一品種が揃っていない。こういうことになると、何といっても東京で第一級のバーは渋谷宇田川町松竹横通りのバー「ベラミ」である。フランス調の渋く上品なバーだが本場フランスのワイン30種、いつでも好みの酒が飲めるうれしいバーだ。ワインのほか世界各国の酒凡そ三〇〇種が揃っているというから、酒のコレクションだけでも東京一は疑いない所だろう。マダムが純日本型の美人で堀派小唄の名取り。高橋貞二や三船敏郎も渋谷に現われればよく顔をみせるのもこの店だ。二階には「ダミア」というシャンソンの聞ける喫茶店もある。静かに耳を澄ませていたまえ、パリの屋根の下そこはかとない異国の情緒にひたれる雰囲気がある。

東京で唯一といわれる総部屋数なんと三十四（数寄屋造22、洋室12）がそれぞれ冷房設置完備という豪華な旅館が新宿にお目見えし、話題を呼んでいる。

○…場所は新宿の区役所裏通り、都電大久保車庫の近く。同館は且って外国人用ホテルとして有名だったが、この度外人関係は絶対にお断り。純粋の日本人向きのスタイルに切りかえるのに、大改装しこの度やっと完成したもの

最高の設備、最低の料金

何といってもこゝのご自慢は、他の旅館に絶対類の無い総大理石風呂のあることで、早朝より入浴が随意。熱海か伊豆へ暑い中を満員電車にゆられて行くよりずっといゝ。同館の店主長崎氏も仲々ご自慢するだけある。こういう豪華な旅館だが、料金の方はというとこれは最低なみ。なにしろ一泊二食付千二百円より、泊りが六百円よりというから、まさに一等なみの設備で、三等料金でくつろげるわけ。なお、電話一本（35―二三五二―三・五四三五）あらかじめかけておくと新宿駅へ富士山印のハンテンを着た番頭がお迎に参上するという。

○…とかく風評のあった新宿界隈の諸問題を一掃すべく、元新宿財政委員長長崎酒店社長が同地区の発展の為にと乗り出した事業だというから、各界注目のうちにその発展は疑いなかろう。【写真は富士見荘】

お盆興行随一！　2大西部活劇一挙上映